

令和3年度進行管理・評価シート

下野市 歴史的風致維持向上計画（平成31年3月26日認定）
（最終変更 令和4年3月14日）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 歴史的風致の維持及び向上に向けた連携並びに推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 重点区域における良好な景観を形成する施策	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 下野薬師寺跡保存整備事業	3
2 史跡等公有化事業	4
3 下野国分尼寺跡保存整備事業	5
4 地域の文化財の総合的な活用に係る基本計画(仮称)策定事業	6
5 歴史的風致形成建造物の調査・継承支援事業	7
6 しもつけ風土記の丘資料館整備事業	8
7 学びの場活用事業	9
8 天平の丘公園・下野国分寺跡を活用したイベント事業	10
9 歴史文化発信事業	11
10 ローカルガイド育成事業(文化財観晃ガイド養成事業)	12
11 民俗芸能・伝統行事継承事業	13
12 伝統文化体験事業	14
13 歴史学習事業	15
14 干瓢生産・消費推進事業	16
15 干瓢生産道具保存活用事業	17
16 天平の丘公園再整備事業	18
17 景観計画の策定	19
18 薬師寺周辺駐車場等整備事業	20
19 下野薬師寺いにしへの道整備事業	21
20 情報案内・説明板設置事業	22
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の修理・整備に関する取組み	23
2 文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組み	24
3 文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組み	25
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 下野市の文化財保存活用計画 国が認定、事業加速	26
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 ローカルガイド育成事業(文化財観晃ガイド養成事業)における文化財観晃ガイド養成講座の受講者数	27
口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	28

評価軸1-1

組織体制

	評価対象年度	令和3年度
	項目	現在の状況
	歴史的風致の維持及び向上に向けた連携並びに推進体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 歴史的風致維持向上計画の推進体制は、都市計画課と文化財課を中心とし、関係各課と連携を図りながら、下野市歴史的風致維持協議会において計画推進や計画変更、効果的かつ円滑な事業実施に向けた協議を行い、事業の推進を図る。
 具体的な事業や取組みの実施に関しては、国や栃木県の指導を仰ぎながら、庁内各関係課と連絡調整を行いつつ、事業対象となる文化財の所有者や周辺住民等と協議のうえ実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

新型コロナウイルス感染症対策のため、第4回(令和3年度)歴史的風致維持向上協議会を令和4年3月14日に書面開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 各種事業を円滑に推進していくため、各種補助事業の積極的な活用を図った。その中でも、下野薬師寺いにしへの道整備事業については、令和4年度より国の街なみ環境整備事業を活用し実施する。 引き続き国庫補助の積極的な活用を推進するとともに、歴史まちづくりに関する情報を発信し、市民の意識向上を図る必要がある。
--	--

状況を示す写真や資料等

令和4年2月7日

下野市歴史的風致維持向上協議会
委員各位様

下野市歴史的風致維持向上協議会
会長 菊谷 勇雅

第4回下野市歴史的風致維持向上協議会の開催(書面開催)について

立春の候、貴職におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
 また、日頃より本協議会の運営につきましてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、標記協議会を開催させていただく予定でしたが、感染症の拡大を未然に防止するため、今年度も書面による開催とさせていただきますので、ご理解ご協力の程よろしくお願いたします。

記

1. 書面開催の概要
 3月上旬、資料及び書面開催における意見書面開催日は3月14日(月)を予定し、意見書面開催にご案内いたします。
 ※書面開催のため、市役所にお越しください

2. 内容
 (1)議事
 下野市歴史的風致維持向上計画の進捗管理
 (2)その他

第4回(令和3年度)下野市歴史的風致維持協議会の書面開催
 令和4年3月14日(月)
 議題 (1)下野市歴史的風致維持向上計画の進捗管理・評価について

評価軸2-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
重点区域における良好な景観を形成する施策 (1) 都市計画との連携 (2) 景観施策との連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

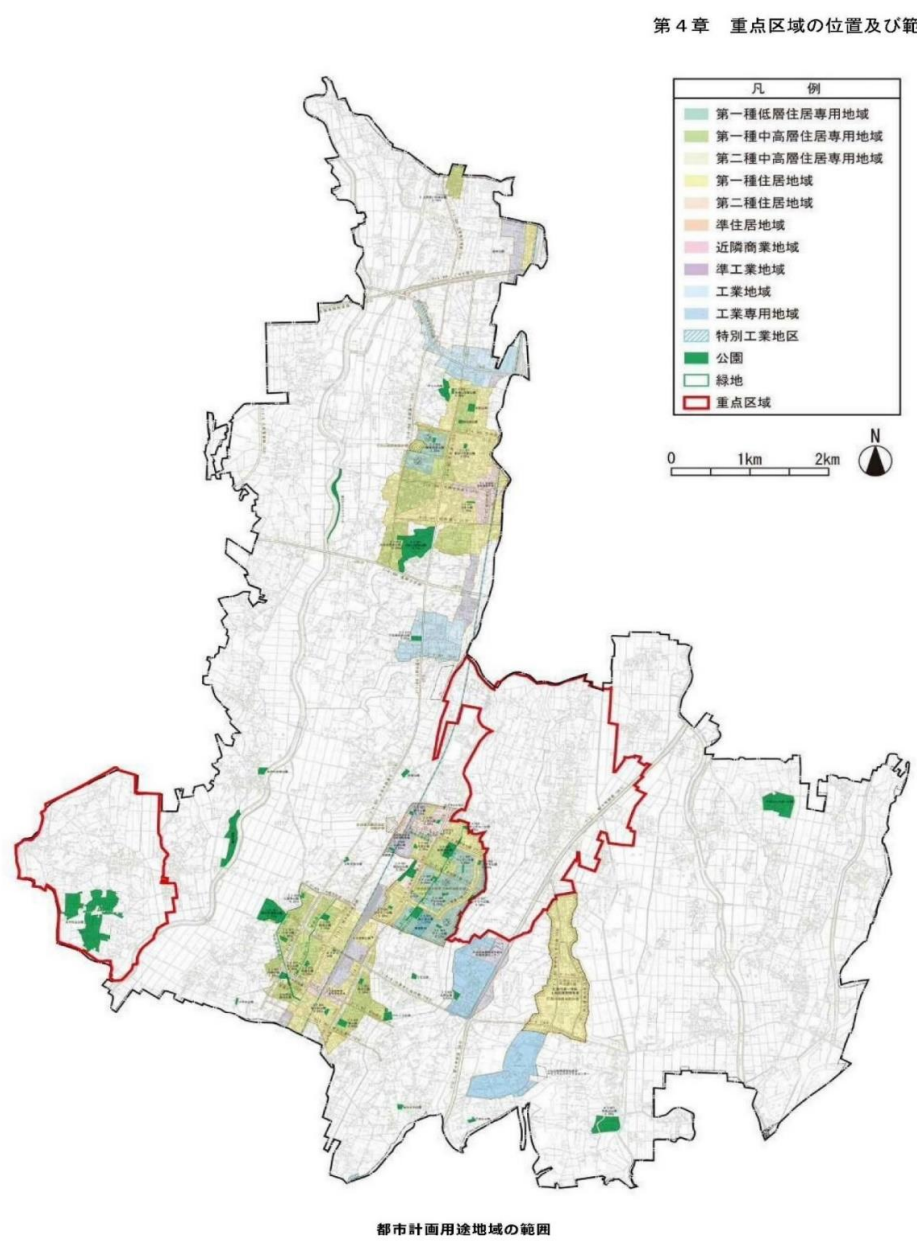
計画に記載している内容
 歴史的風致維持向上計画に位置付けられている重点区域については、市街化調整区域となっているため、都市計画及び建築の制度や誘導施策と連携しながら、両重点区域の更なる歴史的風致の維持向上を図る。栃木県の景観条例及び屋外広告物条例に基づき歴史的風致の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国の指定文化財である下野薬師寺跡及び国分寺跡、国分寺尼寺跡と緑地環境地域の国分寺跡周辺については、栃木県屋外広告条例により、屋外広告物の掲示禁止地域に定められている。また、令和2年度から令和3年度にかけて策定した景観計画において、市全域を景観形成区域とし、重点区域を景観形成重点区域の候補地とした。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	景観計画で定めた景観形成重点区域の指定方針のもと、重点区域における地域住民等の景観形成に対する意識の熟度に応じ、景観形成重点区域化を検討する。

状況を示す写真や資料等



評価軸3-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
下野薬師寺跡保存整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 発掘調査の結果に基づき、当時の伽藍の基壇の復元等を行うとともに、既整備範囲についても再整備事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

諸条件の整理や整備事業を行うための課題等についての検討等を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後は、策定した基本計画に基づき、文化庁、庁内関係各課との調整を図りながら事業を進める。

状況を示す写真や資料等



完成予想イメージパース(北西から)

評価軸3-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
史跡等公有化事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和5年度

支援事業名 史跡等購入費補助金

計画に記載している内容 史跡下野薬師寺跡の推定東門周辺地区の整備事業を実施するため、土地の公有化を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

公有化に向け、地権者への説明を3回行い、概ね合意が得られた。

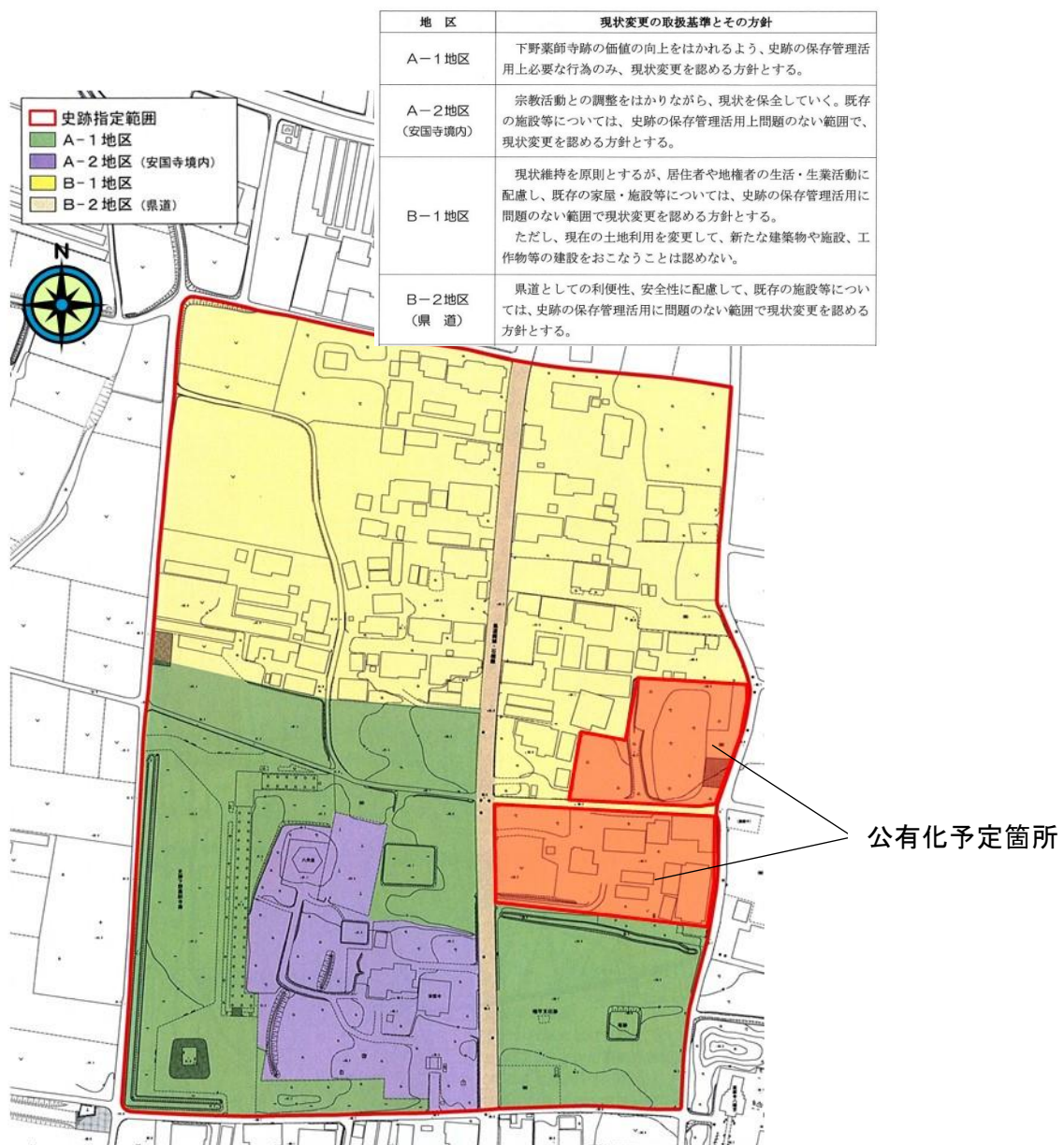
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

公有化に伴い、地権者による家屋・竹木などの撤去が必要となるため、撤去等の工事について、地下の遺構へ影響を与えないように工事を行うよう地権者と協議を行っている。

状況を示す写真や資料等



評価軸3-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
下野国分尼寺跡保存整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和2年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金		
計画に記載している内容	尼坊跡及び推定西門跡周辺の整備事業を実施する。尼坊基壇表示及び西門の位置の表示等とともに説明看板等の設置を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
第2期保存整備事業として、史跡地北側の植栽等を行うとともに、西門の表示や説明看板等を設置し、令和2年度に第2期保存整備事業が完了した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	第2期整備事業は完了したが、史跡地東側を中心に未買収地が残されているため、今後、公有化や整備事業の検討を行う必要がある。		

状況を示す写真や資料等



下野国分尼寺跡第2期整備完了写真(西から)

評価軸3-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
	項目	現在の状況
	地域の文化財の総合的な活用に係る基本計画(仮称)策定事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和2年度

支援事業名 文化遺産総合活用推進事業

計画に記載している内容 市内における文化財の保存及び活用に関する総合的な計画である「文化財保存活用地域計画」の策定を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年7月に下野市文化財保存活用地域計画として国の認定を受けた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

策定後も継続的な事業の推進、進捗管理、定期的な見直しが必要である。

状況を示す写真や資料等

文化財の保存・活用に関する方針

【東の飛鳥プロジェクト】
本市では、「下野市歴史文化基本構想」策定後、市内に所在する文化財を指定・未指定に関わらず、その周辺環境まで含めて一体的に保存し、教育や観光に活用したまちづくりを進めています。
この取り組みを、国指定史跡下野薬師寺跡をはじめとする東国における飛鳥時代の差遣を表す遺跡が多く集中するという歴史的特性から、「東の飛鳥プロジェクト」と名付け、CGを活用した文化財の情報発信や文化財がランドリアの養成、東の飛鳥ブランド(令和元年5月商標登録済み)によるグッズの作成やシンポジウムの開催等に取り組んでいます。



【文化財の保存・活用に関する基本目標】
本市の文化財の特徴やこれまでに実施された歴史文化遺産総合調査をはじめとする各種文化財調査、計画策定に伴い実施したアンケート等から本市の文化財の特色と現状・課題を整理し、文化財の保存・活用に関する基本目標を設定しました。

基本目標

「歴史をつなぎ未来をひらくー守る・活かす・創る 下野市の文化財ー」

- 先人から守り継がれてきた歴史文化の保存「守る」。
- 将来のまちを育んでいく子ども達のための学習資源や各地から訪れる人々に向けた観光資源としての活用「活かす」。
- 住民自らが、地域を学び・語ることで、下野市に住む誇りや住み続けたいという意識を向上させるとともに、定住促進や観光振興を図り、未来のまちを創造する「創る」。

【基本方針と基本方策】

地域計画では、上記基本目標の実現に向けた方針と方策を定めて具体的な施策に取り組みます。

文化財の保存と継承 貴重な文化財を顕在化させ、地域資源として総合的に活用していくための施策の推進	文化財を一元管理するためのデータベース作成 貴重な文化財の指定・保存 防災・防犯体制の整備
多様な豊富な文化財の顕在化 本市の豊かな文化財を顕在化するための調査の実施及び市内外に向けた発信力の強化	継続的な調査研究の推進 文化財の価値や魅力の発信機能の強化
文化財の総合的な活用 本市の豊かな文化財を地域資源として総合的に活用するための取り組みや仕組みづくりを図る	文化財の多様な活用の推進 文化財活用のための拠点づくり 文化財保存活用のための相互連携

下野市の関連文化財群と文化財保存活用区域

本市の文化財の保存活用における基本目標を達成し、本市の歴史文化を活かしたまちづくりを進めるために、地域計画では「関連文化財群」と「文化財保存活用区域」を設定しました。

【関連文化財群】
本市の歴史文化の特性に基づくテーマやストーリーに沿って、文化財を指定・未指定に関わらず、一定のグループでまとめたものです。それぞれの文化財の価値を再認識し、相互に結び付けて総合的に活用を図ります。



関連文化財群

① 独自の地域性を持つ古墳文化と東国唯一の国家仏教の地「下野」 独自の地域性を持つ古墳群と古代東国における国家仏教に大きな役割を果たした古代寺院跡を保存活用するための文化財群 主な構成文化財 ・しもつけ古墳群 ・下野薬師寺跡 ・下野国分寺跡 ・下野国分尼寺跡	② 中世武士の職いが誇り広げられた土地「狭間の地 下野」 鎌倉時代以降に築かれた中世城跡と城跡に関連して造られた石造物等を保存活用するための文化財群 主な構成文化財 ・中世城跡跡(児山城・薬師寺城・箕輪城) ・東根供養塔・板碑 ・五輪塔	③ 時代を越えたヒトとモノの流れ「東西南北を結ぶ一大交流拠点」 市内に整備された街道に所在した宿場や市、街道の整備に伴って発達した伝統産業を保存活用するための文化財群 主な構成文化財 ・東山道 ・奥大進(うしみち) ・日光街道 ・宿場町跡(小金井宿・石碓宿) ・陸羽街道・干瀬	④ 古代から受け継がれる祈りの歴史 古代から現在まで地域の人々によって受け継がれてきた祭礼や年中行事等を保存活用するための文化財群 主な構成文化財 ・六角堂 ・薬師寺の花まつり ・皇宮神社 ・十九夜塔 ・伝統芸能保存会(お籠子・天女神楽)
---	---	---	--



下野文化財保存活用地域計画の概要

評価軸3-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
歴史的風致形成建造物の調査・継承支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 これまでに十分に調査されていない歴史的建造物について、総合的に把握するとともに調査を実施する。また、調査等に基づき歴史的風致形成建造物を指定し、保存を図るために修理等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内に所在する歴史的建造物3棟(天満宮神社、行政倉庫、吉田八幡宮)について小山工業高等専門学校と協力し詳細調査を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

調査済みの地区以外にも歴史的建造物が残る地区があり、継続した作業が必要である。また、歴史的風致形成建造物への指定等についての基準を設けたうえで、今後指定を行っていく。

状況を示す写真や資料等



天満宮神社(上吉田)の調査



行政倉庫(花の木)の調査



吉田八幡宮の調査



調査により確認された棟札(吉田八幡宮)

評価軸3-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
しもつけ風土記の丘資料館整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和2年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金		
計画に記載している内容	しもつけ風土記の丘資料館を下野市の埋蔵文化財の発信拠点として改修を行い、下野市の歴史を発信し理解を深めることのできる施設とする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
常設展示室の改修工事及び展示リニューアル事業を実施し、令和3年5月2日にリニューアルオープンした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	整備事業が完了したため、今後は来館者の要望に応じた運営、継続的なソフト事業の実施が必要である。(定期的な運営方針の確認)		

状況を示す写真や資料等



リニューアルセレモニー



内覧会

評価軸3-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
学びの場活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	国分寺西小学校(平成31(2019)年4月1日に国分寺小学校に再編)の校舎の一部を利用して、干瓢生産道具を主とした農業に関する民俗資料や埋蔵文化財、古文書等の歴史資料を収集・保管・展示する施設として整備し、これらの資料を使用して、歴史と文化を学び、体験する施設として活用する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
展示施設としての活用を図るための検討を行ったが、展示については既存資料館を活用して実施し、本事業については見直しを行うこととした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	都市計画法に基づく事務手続きも含め、整備手法等について再検討を行う。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸3-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
天平の丘公園・下野国分寺跡を活用したイベント事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和7年度		
支援事業名	都市再生整備計画事業(R3より)・市単独事業		
計画に記載している内容	天平の丘公園については、春の花まつり期間、下野国分寺跡については史跡愛好家の来訪がそれぞれ集客のメインになっている。 天平の丘公園再整備により通年での来園者を見込むが、更なる来園者の増加と、史跡地の周知及び積極的な活用を図るため、様々なイベントを実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
新型コロナウイルスの影響によりイベントが開催できなかったため、広場ステージの照明や放送設備の改修を行い、今後のイベントの利活用に備えた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス禍にあっても可能な新しい形式でのイベント開催を検討していく。また、終息後に備え、既存のイベントのブラッシュアップや新規イベントの創出を併せて検討していく。		
状況を示す写真や資料等			



ステージ照明改修工事



放送設備配線改修工事

評価軸3-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
歴史文化発信事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

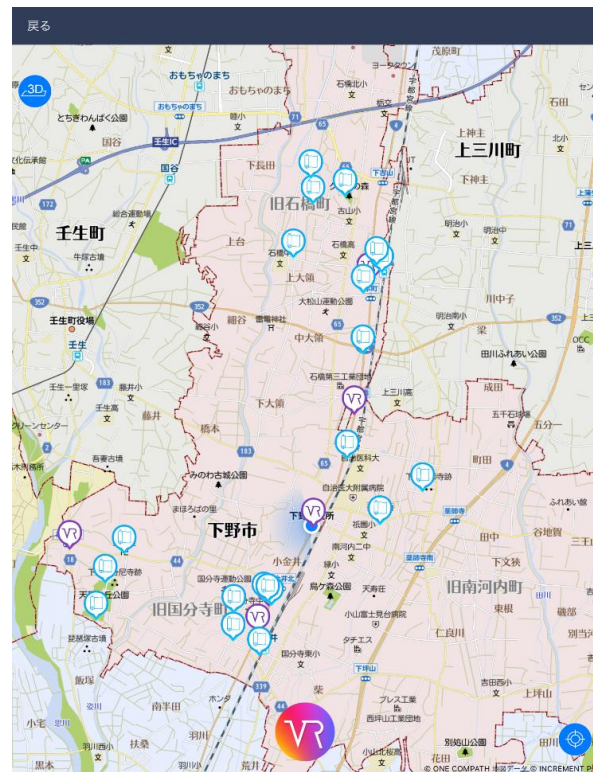
計画に記載している内容 市の歴史的風致を紹介するパンフレットの作成を行うほか、VR等を活用した歴史的風致形成建造物等の復元等を行い公開し、児童・生徒や来訪者に対し市の歴史的風致の魅力の発信を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

これまでに作成した、下野薬師寺、古墳、日光街道、東山道関連文化財のVR画像の公開を行うとともに、しもつけ風土記の丘資料館でVR画像を活用した映像を公開した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	より活用を進めるため、学校教育における利活用を検討する。

状況を示す写真や資料等



VRアプリケーション画面

評価軸3-10	
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
	評価対象年度
	令和3年度
項目	現在の状況
ローカルガイド育成事業(文化財観覧ガイド養成事業)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	史跡下野薬師寺跡や下野国分寺跡等に訪れる来訪者等に対し案内・説明を行うガイドを養成するために、講習会やガイド認定制度の導入を行う。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
新型コロナウイルス感染症の影響により養成講座は開催できなかったが、リニューアルオープンしたしもつけ風土記の丘資料館の展示解説マニュアルを作成し、登録しているガイド等に対し説明会を実施し21名の参加があった。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後、十分な感染症対策を行ったうえ、養成講座や来訪者に対する説明等を実施する。
状況を示す写真や資料等	
	
資料館解説のための説明会	

評価軸3-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
民俗芸能・伝統行事継承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内の祭礼に伴う伝統芸能や地域に伝わる民俗行事等の基礎調査を実施することにより行事等の把握を行う。また、保存・継承のため、専門的な知見に基づき、記録や道具等の整備、後継者育成、情報発信等の支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、祭礼に関する聞き取り調査をすることができなかった。また、祭礼自体も感染症の影響により実施されなかったため、記録を作成することができなかった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		祭礼や行事に関する知識や情報の知見者の高齢化が進んでいるため、感染症対策を実施しながら、早期の記録や聞き取り作業が必要である。	
状況を示す写真や資料等			

評価軸3-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
		項目	現在の状況
		伝統文化体験事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内の祭礼に伴う伝統芸能や地域に伝わる民俗行事等を継承するために、将来の担い手となる小・中学生等に対し、ワラデッポウ作りやお囃子、太々神楽等の体験事業を行う。 また、次代を担う子どもたちに対して、地方公共団体や伝統文化等の指導者等が一体となって、地域ぐるみで民俗芸能、工芸技術、邦楽、日本舞踊、茶道、華道などの伝統文化等を体験・習得できる機会を新たに設けることにより、子どもたちの体験機会を拡充し、併せて地域文化・地域人材の掘り起こしを図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・伝統文化親子教室を開催した。(茶道・華道・和装礼法・和琴・お囃子) 教室の成果の発表の場として、文化noフェスティバルを開催した。(会場:市役所3階会議室) (来場者: H30 162名、R1 176名、R2 126名、R3 150名)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業実施の効果を数値化して評価し、事業の拡大を図る。		

状況を示す写真や資料等



伝統文化親子教室 (和装礼法)



伝統文化親子教室 (茶道)



伝統文化親子教室 (お琴)



伝統文化親子教室 (生け花)

事業への参加者の推移	
H30:	延べ参加者 90人
R1:	" 98人
R2:	" 70人
R3:	" 48人

評価軸3-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
歴史学習事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 将来、歴史的風致の担い手となる小・中学生に対する歴史等への学習支援を強化し、学校や教育委員会、博物館が連携した歴史学習事業の展開を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

資料館での学校見学が45校で1,483人、市内の小学校への出前授業(干瓢むき体験3校・下野市の歴史講座1校)をで実施した。また、下野薬師寺歴史館において、近隣の小学校との連携した体験事業を実施するとともに、しもつけ風土記の丘資料館でも小・中学校と連携した事業を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで、学校と連携しながら継続して事業が進める。継続して実施している事業であるが、子どもたちの興味関心を深められるよう、常に新たな取り組みを検討していく。

状況を示す写真や資料等



出前授業(干瓢むき)
祇園小学校(7/19)



小学生のふるさと学習
エゴマ収穫(10/28)



小学生の里山活動
(下野国分寺跡)



小学生の資料館見学

評価軸3-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
	項目	現在の状況
	干瓢生産・消費推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 干瓢生産について、良質苗の提供や生産機械や施設整備への支援を行い、減少傾向にある干瓢生産の維持拡大を図っていく。
また、干瓢の消費については、毎年開催しているかんぴょうまつりや干瓢料理教室などの魅力発信に係るイベント等を開催し、消費拡大につなげていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

減少傾向にある干瓢生産量の維持拡大及び消費拡大を図るため、下記の支援等を行った。
 ■干瓢苗・種子購入への支援: 個人生産者やJAうつのみや、JAおやまの生産部会を通し、苗・種子購入費に対し1/2補助を行った。
 ■生産機械、施設整備の支援: 干瓢乾燥用ヒーター、乾燥用パイプハウス、干瓢剥き機等の整備を行った生産者に対し1/2補助を行った。
 ■消費拡大への取り組み: かんぴょうまつりは新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となってしまったが、ゆうがおパークにおいてかんぴょうを使った料理の試食提供等イベントを実施し、かんぴょうの魅力発信を図った。また、かんぴょうPR用のぼり旗を新たに市内のかんぴょう取扱店10店舗に配布した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

新型コロナウイルス禍においても開催も可能な新しい形式でのイベント開催を検討していく。
かんぴょう生産農家への支援を継続し、かんぴょうの生産振興を図る。

状況を示す写真や資料等

7/12~18 (日) (日) 3000円商品券 2名びったり賞
 8/2~8 (日) (日) 10000円商品券 14名ニアピン賞
 5000円商品券 28名まあまあ賞
 僕は何グラム? びよん太の重さ当てクイズ
 ゆうがおパークに設置したゆうがおの実を見て重さを当てよう!
 ゆうがおパーク
かんぴょう づくしまつり
 8/15 (日) 早い者勝ち!! 20組限定 ランタン作り体験!
 参加費無料! 時間/10:00~12:00
 7/17,18 (土) (日) 8/7,8,15 (土) (日) (日) 無料 各日 先着200名様 かんぴょう試食会
 びよん太の重さ当てクイズ応募券
 〒329-0515 栃木県下野市中大領687番地
 Tel:0285-38-6390 Fax:0285-38-6391
 HP ゆうがおパーク 検索



干瓢PR用のぼり旗の写真

かんぴょうPRのためのイベント

評価軸3-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
干瓢生産道具保存活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	干瓢生産における夕顔の実を剥く道具は時代とともに変遷し、特徴的な変化があることからこれらの生産道具の調査を行い、国の登録有形文化財への登録を目指すとともに、干瓢剥き等の体験事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内の小学校への出前授業(干瓢むき体験等)を市内の小学校3校で実施したほか、しもつけ風土記の丘資料館で干瓢むき体験事業を実施した。また、生産道具の国の登録有形文化財への登録に向けて報告書作成のための準備作業を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	体験授業は、新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで学校と連携し継続して事業を進める。生産道具の調査は、知見者の高齢化等により、早期の記録・聞き取り作業が必要となる。		

状況を示す写真や資料等



資料館での干瓢むき体験



小学校での干瓢むき体験

評価軸3-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
天平の丘公園再整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和7年度		
支援事業名	都市再生整備計画事業(R3より)・市単独事業		
計画に記載している内容	「天平の花まつり」の会場である天平の丘公園について、平地林の保全及び公園施設のユニバーサルデザイン化などを考慮した再整備を行う。 また、公園内を横断する市道2-22号線についても、公園施設と合わせて再整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
天平の丘公園再整備基本計画及び社会資本総合整備計画(都市再生整備計画事業)に基づき、事業を開始した。利用頻度の高い駐車場の区画線更新や駐車場内園路の測量設計等を行った。また、平地林の間伐を部分的に開始し、歩行者が快適に公園を利用できるよう、保全・整備に努めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、関係地権者との調整及び関係部署との連携を図り、事業を円滑に進めていく。		

状況を示す写真や資料等



夜明け前北駐車場区画線設置工事



天平の丘公園内間伐業務委託

評価軸3-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
景観計画の策定	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和3年度

支援事業名 国庫補助事業(景観改善推進事業費補助)

計画に記載している内容

歴史的風致の維持及び向上を確実に推進していくため、以下の施策について検討を進める。

- ・平成31年度より景観団体へ移行
- ・下野市景観計画(R3年度策定予定)における重点区域の位置づけ
- ・景観計画に基づき、屋外広告物条例を策定する。屋外広告物の積極的な誘導方策を検討する
- ・重点区域における建築物等の規制誘導について、区域住民への周知を図る

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年度から令和3年度にかけて学識経験者や国・県、市民、市内各種団体等から構成される景観計画策定委員会を設置し、計6回の会議を開催した。景観に関する市民アンケートや策定委員会による議論を経て景観計画を策定した。計画には景観形成重点区域の指定方針及び建築物等(建築物・工作物)の新築、増築、改築もしくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替え又は色彩の変更等の行為について、届出等が必要な対象規模について記載した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	計画通りに事業を完了した。

状況を示す写真や資料等



景観計画策定委員会の様子
(令和4年1月19日)



評価軸3-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
薬師寺周辺駐車場等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 すでに整備の進んでいる道の駅周辺に用地を購入し、駐車場を増設するとともに、交流施設の充実をはかる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

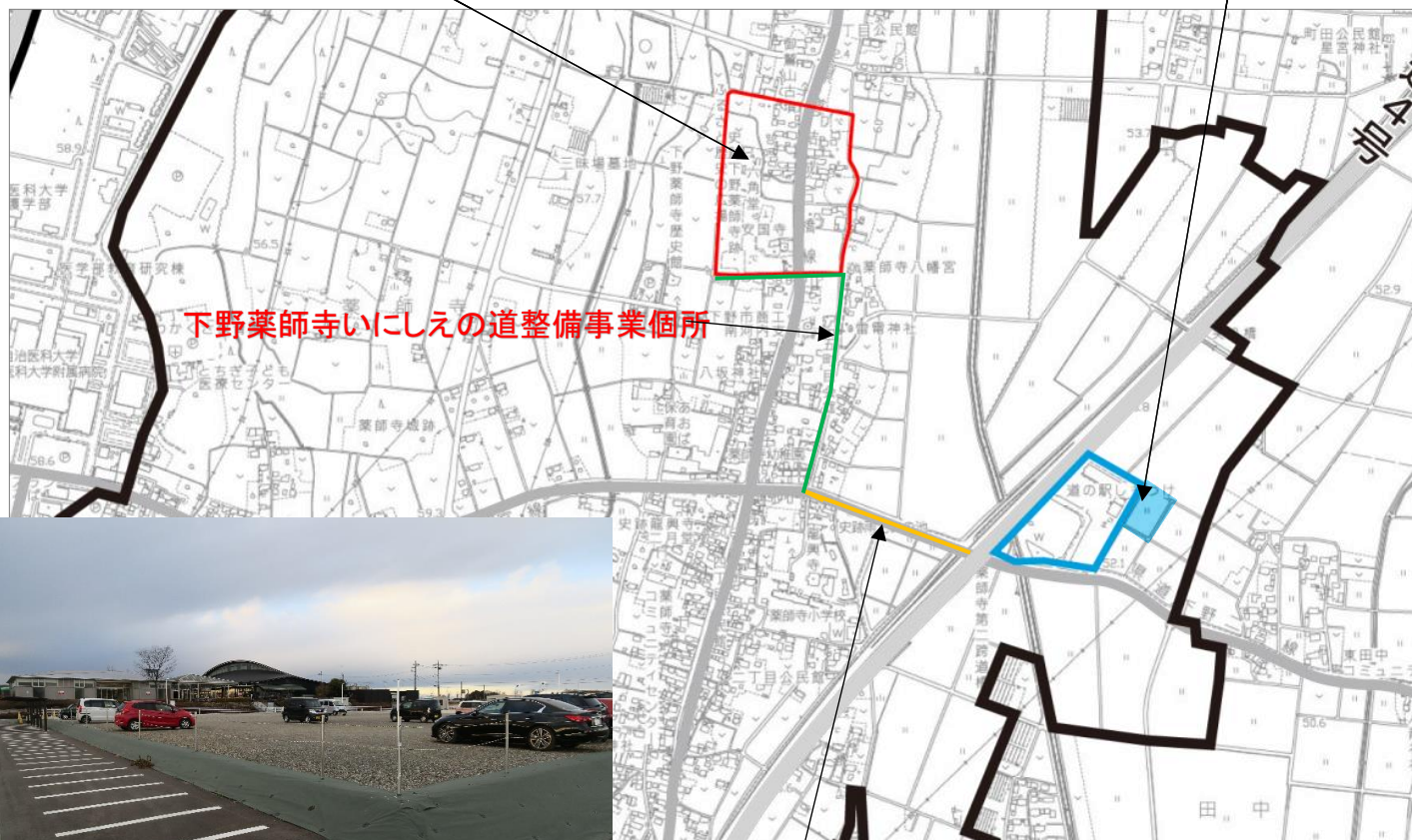
駐車場造成工事が完了し、照明灯の設置を行った。
R4年度に駐車場の舗装を行い、事業完了の予定である。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	道の駅から下野薬師寺いにしへの道整備事業地までは、県道下野二宮線を利用することを想定しているが、歩道が片側しかないため今後歩道の整備について検討を行う。また、駐車場から史跡地への来訪者数の増加を図るため、道の駅内に案内サイン等の設置を進めていく等、情報発信を強化していきたい。

状況を示す写真や資料等

史跡薬師寺跡

事業個所(駐車場整備)



道の駅と増設駐車場

県道下野二宮線

評価軸3-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況
下野薬師寺いにしへの道整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和8年度

支援事業名 街なみ環境整備事業

計画に記載している内容 重点区域の核となる重要な文化財である下野薬師寺跡周辺に所在する下野薬師寺歴史館、薬師寺(旧安国寺)、薬師寺八幡宮、龍興寺を結ぶルートである市道4101号線、4100号線、4131号線、及び7009号線において、安全な通行幅員確保による周遊空間の創出、及び歴史的情緒が体感できる道路への美装化による景観を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国土交通省住宅局所管の街なみ環境整備事業の活用を検討してきた。このため、令和2年度から都市計画課と連携し栃木県建築課との協議を進めてきたところ、令和4年度から補助事業として事業に着手することとなった。令和4年度は、都市計画課及び文化財課と連携し「事業計画策定委員会」を組織し、地域の関係者からの意見を活かした整備方針と事業計画を策定する。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	<p>【街なみ環境整備事業スケジュール】</p> 令和2年度～令和3年度：栃木県建築課との協議調整 令和4年度：事業計画策定委員会による整備方針及び事業計画の検討、整備方針策定、費用対効果分析、事業計画策定(補助対象)、事業説明会 令和5年度：詳細設計(補助対象) 令和6年度～令和8年度：整備工事(補助対象) <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画策定委員会の委員の選定(寺社の関係者、地元自治会、ボランティアなど) ・街なみ環境整備事業を活用するため、無電柱化事業等が含まれることになり、事業費の増大や事業期間の延長が懸念される。

状況を示す写真や資料等



事業概要(案)：栃木県建築課との協議資料

評価軸3-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
		項目	現在の状況
		情報案内・説明板設置事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内の説明板や誘導板については、旧町時代に設置したものも多く、設置した部署により表示内容やデザイン等でかなりの違いが生じて統一感に欠けるため、今後、策定予定の景観計画で統一した表示内容やデザイン等を検討し、景観計画に基づき設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今年度策定した景観計画との整合性を図りながら、下野市の景観及び歴史的風致にあった統一感のある案内板や説明板のデザイン案、サインのあり方等を検討し、整備を実施する。		
状況を示す写真や資料等			
			
市内における説明板・誘導板の現状写真			

評価軸4-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
文化財の修理・整備に関する取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の修理にあたっては、文化財の価値を維持もしくは復旧することを目的とし、関係機関や専門家と連携して行う。修理等に要する所有者等の財政的負担の軽減を考慮し、各種補助制度を積極的に活用する。史跡整備については、国の史跡である下野薬師寺跡の整備事業を進めるとともに下野国分寺跡と連携した取り組みを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
下野薬師寺跡については、第3期保存整備基本計画に基づき、令和4年度に実施予定である基本設計のための課題整理等を行った。また、歴史的風致形成建造物候補である御鷲山古墳について、街なみ環境整備事業を活用して整備を実施するための検討を行い、次年度に整備基本方針及び基本計画の策定を行うこととした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	最新の発掘調査成果などの情報を常に参照することにより、必要に応じ整備基本計画や整備事業計画を見直し、適時適切な事業推進を図る。		

状況を示す写真や資料等



下野薬師寺跡(南西上空から)



御鷲山古墳(北東から)

評価軸4-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 しもつけ風土記の丘資料館を下野市における埋蔵文化財の保存・収蔵とともに情報の発信拠点として位置づけるため、資料館のリニューアルを実施するとともに、下野薬師寺歴史館についても、展示等のリニューアルについて検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

しもつけ風土記の丘資料館については、常設展示室の全面改修や建物の増築等のリニューアルが完了し、令和3年5月2日にオープンすることができた。下野薬師寺歴史館については、今後のリニューアルに向けて検討を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市内の資料館と、周辺自治体の史跡や資料館、栃木県立博物館などと連携しながら事業を実施する。

状況を示す写真や資料等



しもつけ風土記の丘資料館



下野薬師寺歴史館

評価軸4-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
		項目	現在の状況
		文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組み	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	市内の人々に文化財の存在や多様な価値を伝え理解を促す機会を提供するため、デジタルコンテンツの充実を図るとともに、パンフレットの作成や情報案内・説明板の設置、ローカルガイド育成等をおこなう。また、地域住民との連携や子どもたちに対する支援を強化し、民俗芸能や伝統行事の体験等を含めた歴史学習事業の展開を図る。加えて、地域住民や活動団体の発意による新たな歴史的風致の発掘・育成に対する支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成31年3月に発行した東の飛鳥プロジェクトに関するパンフレットについて、下野市文化財保存活用地域計画が国の認定を受けたことに合わせ改訂作業を実施し、令和4年3月に改訂版を発行した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	これまで制作したデジタルコンテンツをさらに充実するとともに、インバウンド需要の増大も見越し、多言語対応の拡充を図る必要がある。		
状況を示す写真や資料等			

文化財の保存・活用に関する措置

文化財保存・活用に関する課題と方針、方策に基づいて取り組む措置(事業)の一部を紹介し、これらの措置は文化財保護基金や地方創生推進交付金等を財源とし、行政だけでなく、文化財所有者や地域住民とともに地域総がかりで実施します。

文化財の保存・活用に関する措置	文化財を一覧管理するためのデータベースの作成	文化財データベース作成事業	下野市文化財バーチャルミュージアムに、町史資料や収集資料や古代陶器文化財、出土遺物、中世陶器文化財、近世、民俗文化財をデジタル化し、文化財データベースを更新します。
	貴重な文化財の調査・保存	重要文化財や重要古墳出土遺物保存修理事業	甲賀市境内出土遺物の保存・活用を図るため、形象複製の保存修理を実施します。
	防災・防犯体制の整備	資料館職員に対する防災訓練の向上	しもつけ風土記の正装科鑑及び下野藩御守蔵庫における防災・防犯マニュアルを作成し、資料館職員に対して訓練を実施します。
地域が主体となる文化財の活用に関する措置	歴史的な調査研究の推進	市内重要遺跡の発掘調査	市内の重要な遺跡を解明するための発掘調査を実施します(見山遺跡・落内遺跡・しもつけ古墳群・三王山南側1-2号墳)
	文化財の価値や魅力発信機軸の強化	ふるさと学習の推進	市内小中学校と連携を図り、下野藩分守・寛政分守館や下野藩御守蔵庫・しもつけ風土記の正装科鑑を活用し、生涯学習や資料館の見学、歴史的製作物の製作及び複製、企画展開催等を実施します。
文化財の保存・活用に関する措置	文化財の多様な活用推進	陶器文化財群フリーダム事業	地域計画で設定した陶器文化財群を高めるための多岐にわたる活用推進のために、現在の文化財マップを刷新し、陶器文化財群の内容を多岐にわたるデジタルコンテンツを多数の内容へ更新します。併せて市内に所在する古民家等を活用し、宿泊体験を兼ねた文化財高層ツアーを市民まじり団体と企画します。
	文化財活用のための拠点づくり	下野藩御守蔵庫整備事業	史跡地の修繕や下野藩御守蔵庫の展示改修を実施するため、第3期保存整備計画の策定及び整備を実施し、第4期整備に向けた公有化の検討を実施します。
	文化財保存活用のための相互連携	近隣市町との文化財ネットワークの推進	宇都宮市、栃木市、壬佐町、上三川町等としもつけ古墳群や中世城郭群、古代から近世の幅広い文化財群を軸とした文化財ネットワークによる連携の活用を図るため、広域連携による史跡巡りウォーキングやサイクリングイベントを開催します。

文化財の保存と活用 による地域づくり

-東の飛鳥プロジェクト-

東の飛鳥
Shimotsuki no Hotoke

栃木県下野市教育委員会

下野市下野分庁舎2階 2階会議室

文化財の保存と活用による地域づくり

評価軸5-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和3年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
解説楽しく 風土記の丘資料館 来月2日新装オープン	2021/4/25	下野新聞	
消えた旧日光街道復元	2021/5/17	下野新聞	
しもつけ風土記の丘資料館改修	2021/6/5	日本経済新聞	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

下野市歴史的風致維持向上計画、下野市文化財保存活用計画が認定されたことにより、市民の意識の向上がみられ、文化財の保存会等の活動が活発となり、新聞等に取り上げられる機会が増えている。また、しもつけ風土記の丘資料館のリニューアルについても、地方紙のみでなく、全国紙にも取り上げられたことで資料館の知名度が向上した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	引き続き、歴史まちづくりへの関心や理解を深めるため、新聞社などの各メディアに対して積極的に情報発信を行う。

状況を示す写真や資料等

評価軸6-1 その他(効果等)	
評価対象年度	
令和3年度	
項目	
ローカルガイド育成事業(文化財観覧ガイド養成事業)における文化財観覧ガイド養成講座の受講者数	
計画に記載している内容	史跡下野薬師寺跡や下野国分寺跡等に訪れる来訪者等に対し案内・説明を行うガイドを養成するために、講習会やガイド認定制度の導入を行う。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付	
新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度の養成講座は中止としたが、しもつけ風土記の丘資料館のリニューアルに伴う、展示解説のポイント等についての説明会を行い、21名が参加した。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	これまで本市の文化財が多く集中する古代の内容の講座を多く実施してきたが、今後は本市の中世～近世の文化財に関する講座も実施し、幅広く深い知識をもつガイドを養成する必要がある。
状況を示す写真や資料等	
養成講座の受講者の推移 H30: 講座6回 延べ受講者 304人 H31: 講座5回 延べ受講者 341人 R2: 新型コロナウイルス感染症対策のため中止 R3: 新型コロナウイルス感染症対策のため中止	

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 第4回下野市歴史的風致維持向上協議会

会議等の開催日時: 令和4年3月14日(月) 感染症対策のため書面開催

(コメントの概要)

1. 評価軸3-3、3-4、3-6、3-11、3-12、4-1・新しく修正した資料が不明瞭である。
2. 評価軸5-1・当頁について、「消えた旧日光街道復元」は、下野市日光街道一里塚保存会の活動が記載され、活動者として大変うれしく思う。当活動における報道は、歴史まちづくりへの貴重な証拠となり、他の方の事例になったと考えている。
3. 評価軸3-20・予算等の関係もあると思うが、一年でも早く魅力的で分かりやすい情報案内説明板を設置していただき、下野市の観光客・見学者に喜んでもらい、より多数の方の来客につながるようになってほしい。
4. 評価軸4-1・歴史的風致形成建造物候補として上げられている御鷲山古墳について、現在の形態状況をよく確認した上で、十分に検討した後、候補にするかどうか判断された方が良いのではないかと。
5. 評価軸3-8・3年連続で開催できない花まつり。今後については、「サクラに魅せられて」といったニュアンスが含まれる「まつり」の名称は入れずに、コロナと共存可能なサクラを楽しむ方法を考えていく必要があるのではないかと。
6. 評価軸3-16・「平地林内の間伐が進んでいるので、周囲が明るくなり歩きやすくなった。
そこで、伐採した丸太を平地林内に椅子として設置していったら良いと考えている。
7. 評価軸6-1・下野市内には、由緒ある寺院があるので、しっかり学んでいくことは大切なことである。観光ガイドの養成講座については、是非とも、実施していただきたい。
8. 評価軸3-2・公有化について、地権者の合意は得られているのか。・「公有化事業」には家屋や竹林等の撤去が含まれているのか、つまり公有化の前に、地権者(所有者)による家屋や竹林等の撤去が必要であり、そのために「地権者との協議を十分に行う必要がある」とは、「地権者が自ら行う当該工事の際、地下遺構に影響を与えないように工事を行うよう指導する必要がある。」という意味か。趣旨がわかりにくい。
9. 評価軸3-5・定性的、定量的評価:3棟について詳細調査を実施したとあるが、未だ「歴史的風致形成建造物」としての指定には至らないということか。
10. 評価軸3-7・定性的、定量的評価:「活用を図るための検討を行った」とあるが、その結果、どのような方向を目指すのか、記述が必要。
11. 評価軸3-13・状況を示す写真や資料等:説明に「小学校のふるさと学習」等とあるが、「小学生のふるさと学習」「小学生の里山学習活動」「小学生の資料館見学」ではないか。
12. 評価軸3-16・定性的、定量的評価:最末尾部分「保全に努めた」→「保全・整備に努めた」ではないか。実施・検討にあたっての課題と対応方針「関係地権者の調整」→「関係地権者との調整」ではないか。
13. 評価軸3-17・定性的、定量的評価:最末尾部分「一定規模以上の建築物等の建築における届出行為等について記載した。」→「建築物等(建築物・工作物)の新築、増築、改築もしくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替え又は色彩の変更等の行為について、届出等が必要な対象規模について記載した。」ではないか。
14. 評価軸3-18・実施・検討にあたっての課題と対応方針「駐車場から史跡地への来訪者数の増加を図る」とあるが、増設された駐車場から薬師寺いにしへの道整備事業地までのルートとその整備(歩道)が示されていない。どのようにして来訪者数の増加を図るのか。
15. 評価軸3-19、4-1、4-2、4-3、5-1の定性的・定量的評価の文言について、やや乱れが散見されるので、さらに校閲をされたい。

(今後の対応方針)

1. 評価シートの作成について、分かりやすい表記となるように努めます。
2. 今後も、より多くの市民の皆様へ歴史的風致維持向上計画について知っていただけるよう、事業の進捗等について広く周知を行っていきます。
3. 今年度策定した景観計画との整合性を図りながら、街並みに調和した統一感のある情報案内説明板等の意匠や形態等について、具体的な検討をしております。特に歴史的風致維持向上計画の重点区域である国分寺地区・薬師寺地区については、歴史文化を周遊する整備事業が実施されており、デザイン等を熟考した統一感のある案内板が必要であると考えています。こちらにつきましても、サインのあり方等を検討し、設置してまいります。
4. 御鷲山古墳については、現在、民有地となっており、所有者による樹木等の伐採により部分的に崩れた箇所等がありますが、薬師寺地区における歴史的風致形成建造物としての本質的な価値が変わることはありません。今後、古墳がき損等されることの無いよう、歴史的風致形成建造物として指定を行い、公有化及び整備を行うことにより、古墳を適切に保存することができるとともに、薬師寺地区の歴史的風致の維持・向上に寄与することができると考えております。
5. 天平の花まつりについては、出店者の高齢化などの問題もあり、新たな開催方法について検討していくよう「花まつり実行委員会」でも提案がありました。令和4年度は関係機関と1年間をかけて協議しながら新たな仕組みを検討してまいります。
6. 平地林の中は湿度が高いことから、丸太の椅子を設置しても湿気があり、利用しづらいと考えられます。しかし、平地林の中にはコンクリートで作られた椅子が設置されていることから、環境整備の一環として、既存の椅子の周囲に公園内の落下枝を破砕したウッドチップをちらして見栄えを良くし、利用しやすくしています。
7. 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、今後も継続して実施する予定です。
8. 地権者への説明を行い、公有化について概ね合意は得られているため、評価シートの記載を修正します。また、課題と対応方針については、「公有化に伴い、地権者による家屋・竹木などの撤去が必要となるため、撤去等の工事について、地下の遺構へ影響を与えないように工事を行うよう地権者と協議を行っていく」と記載内容を修正します。
9. 現在、継続して歴史的建造物の把握及び詳細調査を実施していますが、調査データの蓄積とともに指定文化財、歴史的風致形成建造物への指定等についての基準を設けたうえで、今後指定を行っていきたくと考えています。
10. 展示施設としての活用を図るための検討を行ったが、展示については既存資料館を活用して実施し、本事業については見直しを行うこととしたことから、記載内容を修正します。
11. 「小学校」を「小学生」に修正します。
12. 記載いただいた内容のとおり修正いたします。
13. 記載いただいた内容のとおり修正いたします。
14. 道の駅から薬師寺いにしへの道整備事業地までのルートについては、県道下野二宮線の歩道の利用を想定していますが、南側が一部未整備であることから、今後整備を推進していくこととします。また、道の駅における情報発信を強化していく他、案内看板等の設置を進めることで来訪者数の増加を図りたいと考えています。記載内容についても、そのように追記します。
15. 記載内容について確認を行い適宜修正します。